

PROFILE

片桐衣理先生

美容皮膚科医、内科医。2004年10月、東京・港区に「衣理クリニック表参道」を開業。ヒアルロン酸、ボトックス注射をはじめ、メソセラピー、レーザー治療など10万件を超える豊富な臨床経験をもとに安全かつ効果的な治療を提供。昨年12月、ベトナムに「衣理インターナショナルクリニックVIVOCHITY店」を開院。

anti-aging

残念な手にならないための ビューティアップ大作戦!

☑ 爪のダメージ

☑ ムダ毛

☑ くすみ

☑ 黒ずみ

☑ かさつき

☑ シミ

☑ シワ

顔よりも年齢が表れるという手だが、どんなところにサインが出るのだろう。「皮膚の質感と色によって、手の見た目年齢はかなり変わってきます」と話すのは、ハンド専門のメニューを展開している数少ない美容クリニック、衣理クリニック表参道院長の衣理先生。上のチェック項目こそ、手老け印象を強める要因だという。「美しい理想の手は透明感があり、キメが細かくハリに満ちています。爪も健康的で形が整えられ、甘皮まわりもケアされている。でも手は体のなかでも最も酷使されているパーツ。乾燥や代謝の乱れ、紫外線の影響によって、皮膚はやせてゴワつき、肌色もくすみがちに。シミやシワ、たるみといったトラブルにも見舞われがちです」。だが顔に比べて優先順位が低いため、ケアがおろそかになりがちなのが多くの現状だ。「15年前にクリニックを開業しようとしたときに、女性のエイジングの変化を細かくチェックしました。そのときに確信したのですが、お顔の肌やメイクをきれいにされていて、手、首、髪に年齢が出ている人が多く、残念な印象に。なかでも手は他人からだけでなく、自分自身もよく目にするパーツ。磨いておくことで、きれいのモチベーションがアップします」

